

# 令和4年度姫路市介護予防事業施策評価委員会

## 議事次第

日 時 令和5年3月10日（金）

午後1時30分～3時00分

場 所 姫路市総合福祉会館5階 第4会議室

### 1 説明・報告

(1) 介護予防事業施策の概要について

(2) 介護予防事業施策の実績について

### 2 協議

(1) 姫路市の介護予防事業施策に関する戦略について

(2) 今後の介護予防事業施策の運営について

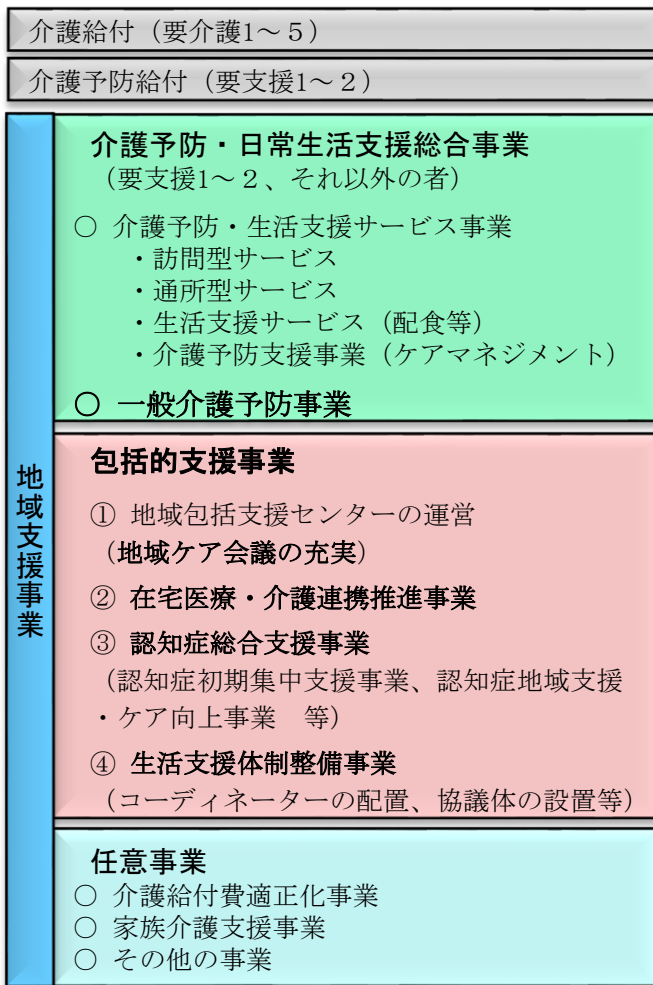
(3) その他

令和4年度  
介護予防事業施策評価委員会  
説明資料

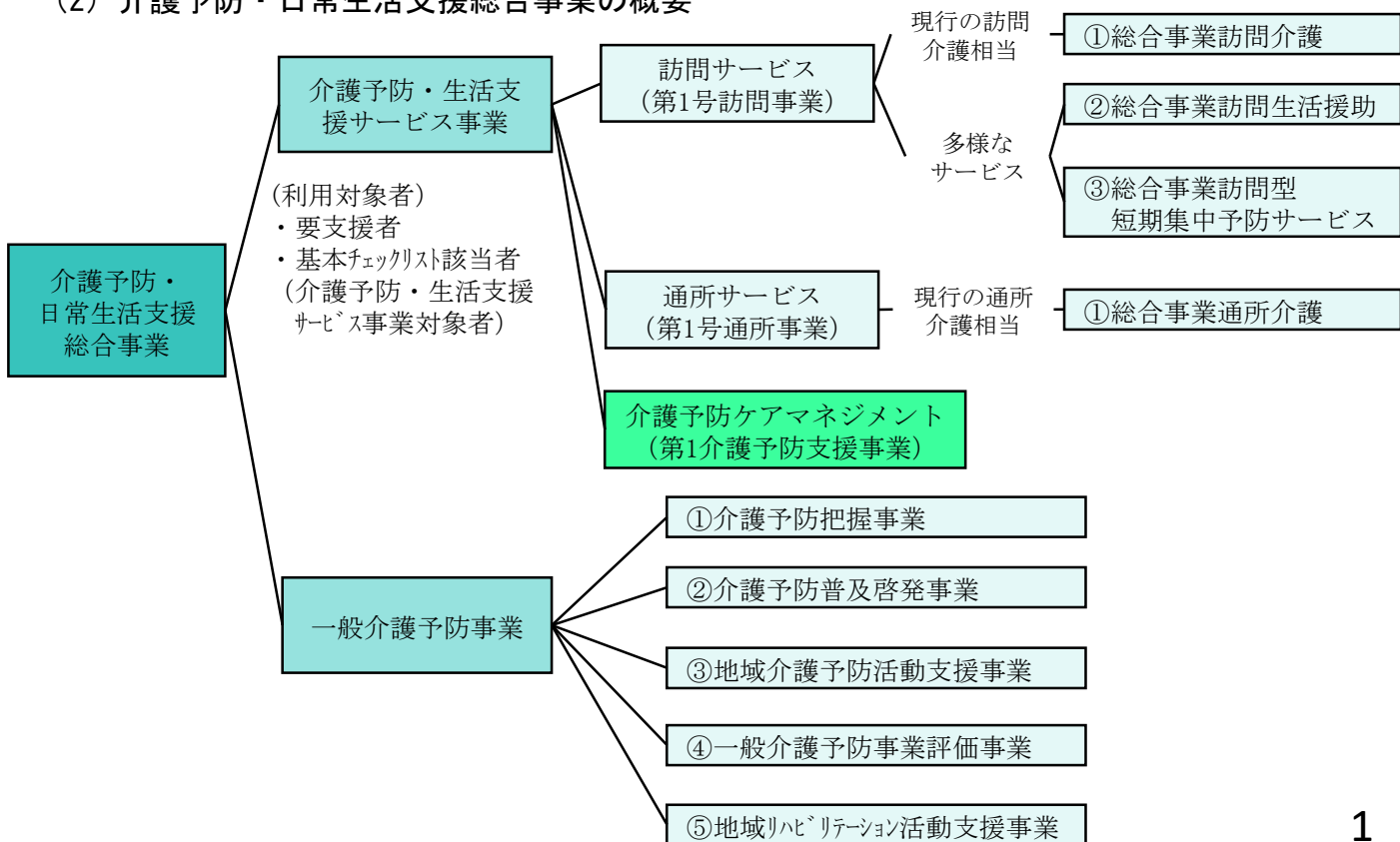
令和5年3月10日  
地域包括支援課

# 1 介護予防事業について

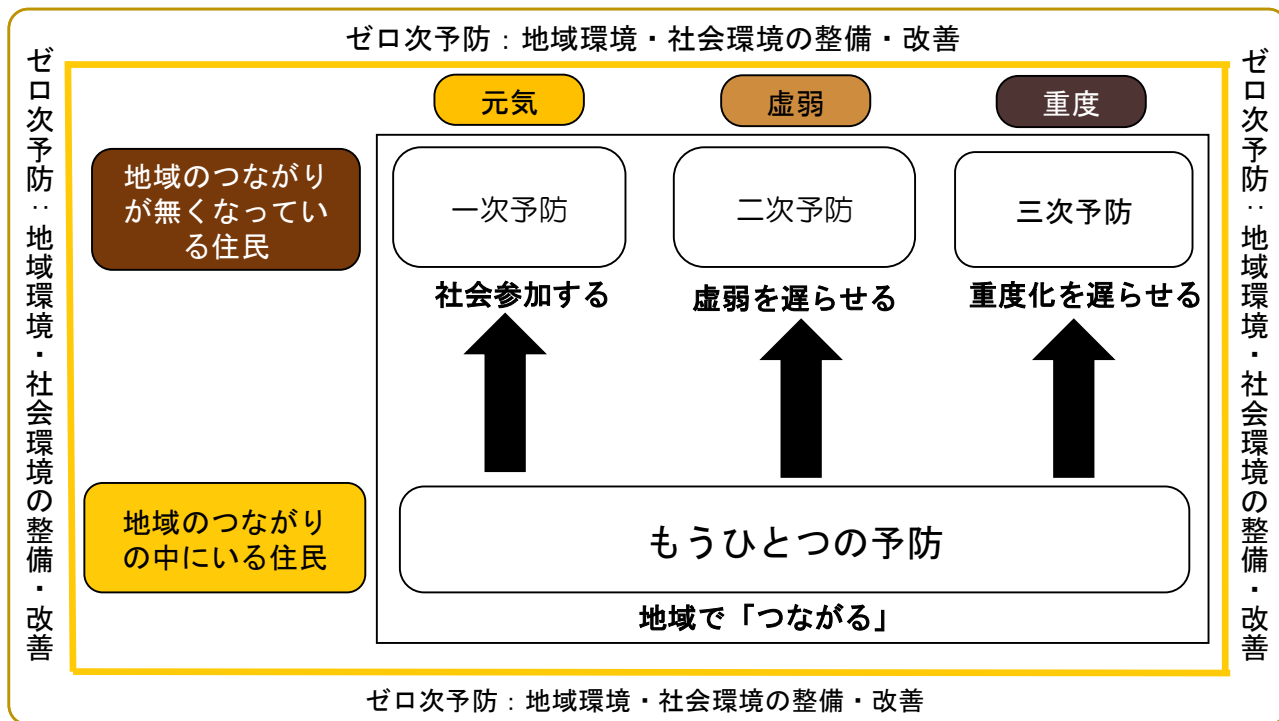
## (1) 地域支援事業における介護予防事業の位置づけ <H27～>



## (2) 介護予防・日常生活支援総合事業の概要



### (3) 一般介護予防事業の位置づけ



### (4) 一般介護予防事業の目的

住民主体の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進していくとともに、地域においてリハビリテーションに関する専門知識を活かした自立支援に資する取組を推進し、要介護状態になっても生きがい・役割をもって生活できる地域を構築することにより、介護予防を推進すること。

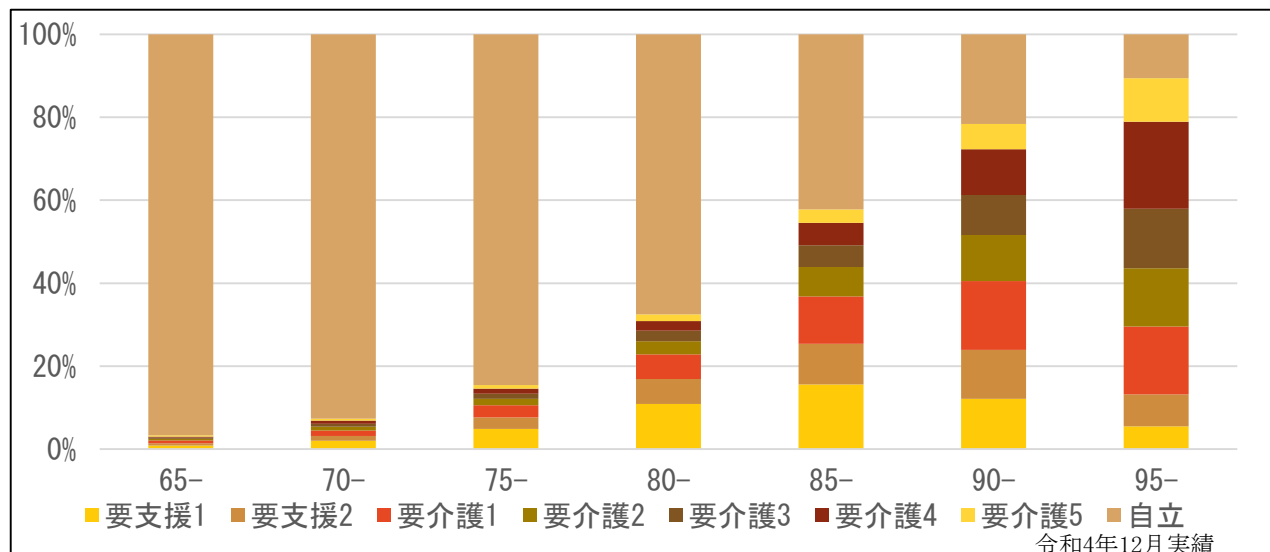
### (5) 一般介護予防事業の概要

一般介護予防事業は5つの事業で構成されており、地域の実情に応じて必要な事業を組み合わせ、通いの場等の取り組みを推進している。

事業名	概要
介護予防把握事業	地域の実情に応じて収集した情報等の活用により、閉じこもり等の何らかの支援を要する者を把握し、住民主体の介護予防活動へつなげる
介護予防普及啓発事業	介護予防に資するパンフレットの配布や講演会の開催、運動、栄養、口腔等に係る介護予防教室の開催など介護予防活動の普及・啓発を行う
地域介護予防活動支援事業	市町村が介護予防に資すると判断する地域における住民主体の通いの場等の介護予防活動の育成・支援を行う
一般介護予防事業評価事業	介護保険事業計画に定める目標値の達成状況等の検証を行い、一般介護予防事業を含め、地域づくりの観点から総合事業全体を評価し、その評価結果に基づき事業全体の改善を行う
地域リハビリテーション活動支援事業	地域における介護予防の取組を機能強化するために、通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民主体の通いの場等へのリハビリテーション専門職等の関与を促進する

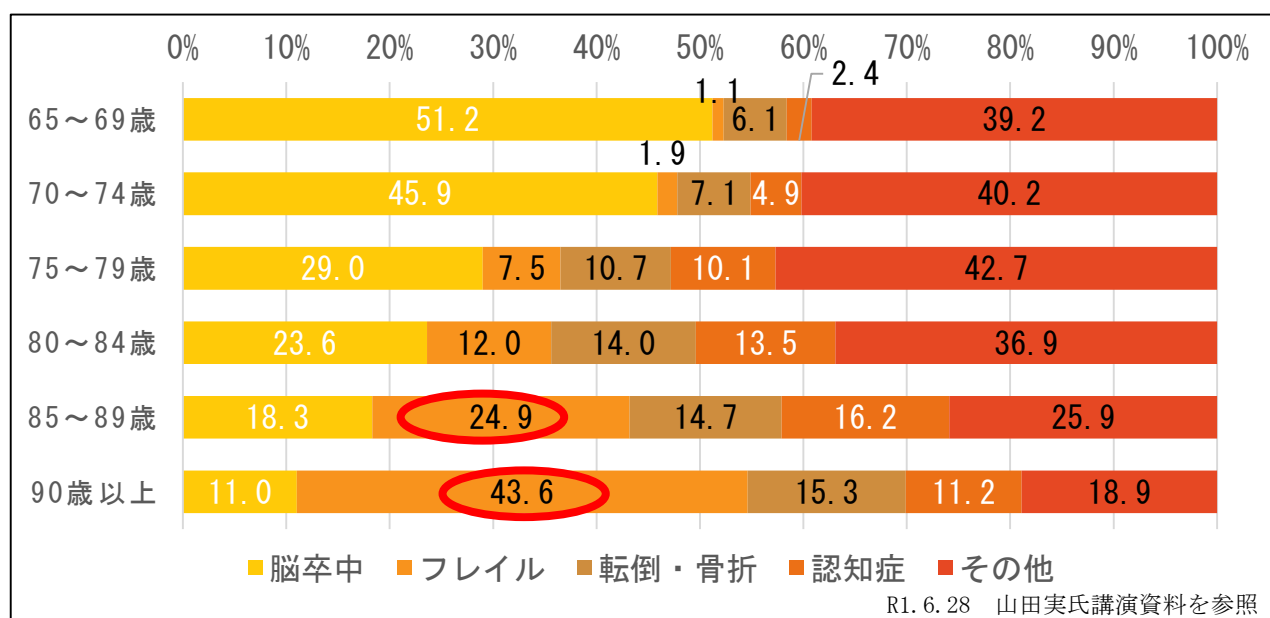
## 2 姫路市の介護予防事業の戦略

### (1) 要支援・要介護認定者の状況



80歳代（特に85歳以上）になると要支援者が急増する

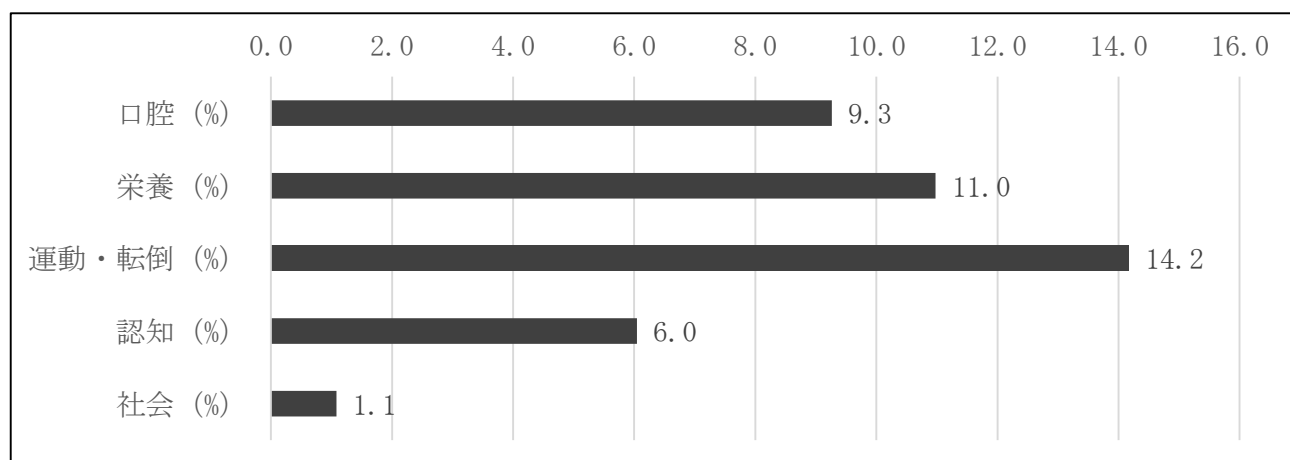
### (2) 年齢階級別の要介護度の原因



R1.6.28 山田実氏講演資料を参照

85歳以上の要介護の原因は、フレイルが急増する。

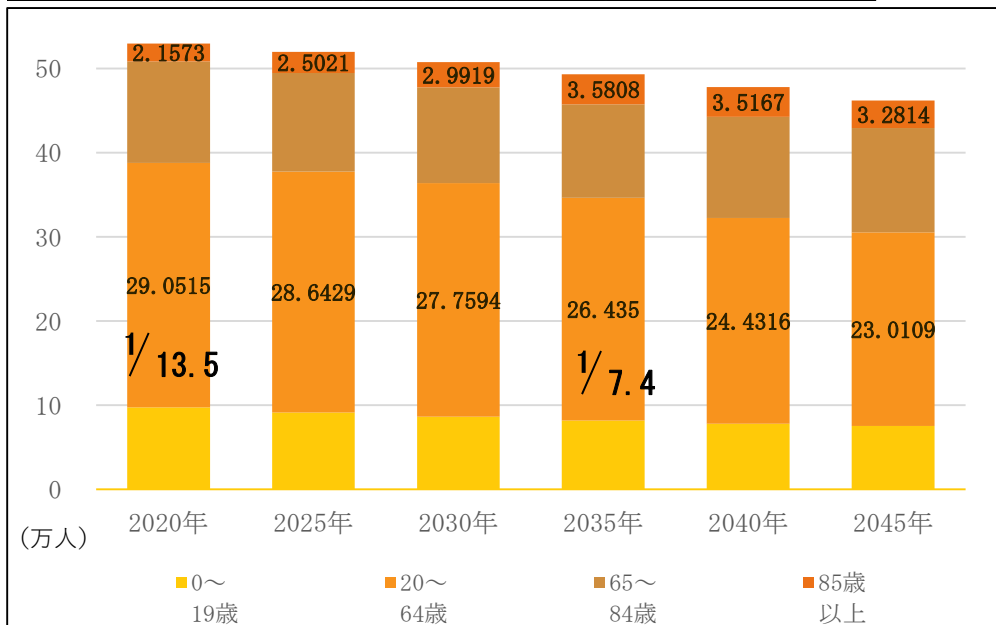
### (3) 姫路市の通いの場参加者のフレイルリスクの状況



「通いの場」の参加者もフレイルのリスクを持った人が一定数参加している。

(4) 姫路市の将来の年齢階級別の人口推計

	2020		2040		変化量
	(人)	(%)	(人)	(%)	
総数	529,772	100.0	477,813	100.0	-51,959 -9.8
0-14歳	71,140	13.4	57,806	12.1	-13,334 -18.7
15-64歳	316,775	59.8	264,600	55.4	-52,175 -16.5
65-74歳	70,001	13.2	72,987	15.3	2,986 4.3
75-84歳	50,283	9.5	47,253	9.9	-3,030 -6.0
85歳以上	21,573	4.1	35,167	7.4	13,594 63.0
再掲) 65歳以上	141,857	26.8	155,407	32.5	13,550 9.6
再掲) 75歳以上	71,856	13.6	82,420	17.2	10,564 14.7



(5) 戦略

通いの場の参加者を増やし、参加者が2035年まで通いの場に通り続けることで要介護状態になる人を減らす

3 令和4年度の介護予防事業施策の実施状況

(1) 介護予防普及啓発事業

介護予防に関する基本的な知識の普及啓発を図るため、相談会、教室、地域における自主活動グループ(いきいき百歳体操)の立ち上げ支援を実施する。

① 随時開催の普及啓発

実施：保健センター・地域包括支援センター・地域包括支援課

対象：高齢者を中心とした地域住民

内容：保健師・看護師・栄養士・歯科衛生士・社会福祉士・主任介護支援専門員等による介護予防に関する講演会・相談会・教室等  
運動指導士による実技指導等

年度	地域包括支援センター実施分		保健所実施分	
	開催回数	参加延人数	開催回数	参加延人数
R3年度	349回	2,772人	18回	566人
R4年12月末	178回	3,404人	28回	876人

②YouTube姫路動画チャンネルに姫路版いきいき百歳体操を掲載

③介護予防自主活動支援（いきいき百歳体操の立上げ支援）

実施：保健センター・地域包括支援センター

対象：高齢者グループ

開催場所：自主活動参加者の居住地（自治会等の集会所・公民館・自宅等）

内容：高齢者が身近な場所で仲間と集まり活動できる自主活動として、活動支援を行っている。

住民主体の活動だが、住民同士がお互いを見守りあう互助的活動に発展することを目指している。

	H31	R2	R3	R4（12月末）
実人員	10,019人	7,760人	7,362人	7,324人
実施場所	465か所	473か所	470か所	476か所
高齢者参加率	7.0%	5.4%	5.1%	5.1%

④認知症サロン

令和2年度から閉じこもりや社会的孤立の予防のために、認知症サロンの運営支援を強化しており、地域の通いの場となっている。

	R2	R3	R4(12月末)
参加者数	2,874人	2,778	2,856
グループ数	98か所	93	94

⑤地域包括支援センター毎の通いの場の活動状況

	令和3年度				令和4年度(12月末)			
	登録グループ数	参加実人員	高齢者千人当りグループ数	高齢人口	登録グループ数	参加実人員	高齢者千人当りグループ数	高齢人口
白鷺・琴陵	5	248	2.5	6,517	18	236	2.8	6,524
城乾・東光	28	503	3.4	8,325	30	468	3.6	8,289
山陽	17	371	1.9	9,054	18	397	2.0	9,022
高岡	10	116	1.4	5,541	10	127	1.8	5,526
安室	13	216	1.9	6,177	13	177	2.1	6,193
花田・城山	17	184	2.8	4,598	17	229	3.7	4,608
四郷・東	13	209	1.9	6,253	13	241	2.1	6,276
書写・林田	17	321	2.0	7,636	15	290	2.0	7,607
大白書	18	210	3.2	5,346	18	271	3.4	5,372
灘	24	491	3.2	6,804	23	374	3.4	6,794
大的	33	339	6.8	3,953	31	332	7.9	3,926
飾磨西	22	243	2.7	6,674	24	289	3.6	6,649
飾磨	28	494	3.5	7,801	29	440	3.7	7,786
大津	19	244	2.1	6,604	21	269	3.2	6,616
広畑	26	387	2.7	8,427	27	413	3.2	8,454
朝日	23	344	2.9	7,297	23	298	3.2	7,290
網干	10	217	1.9	4,667	10	205	2.1	4,670
増位・広嶺	26	351	2.3	9,765	28	490	2.9	9,777
北	35	684	5.3	6,431	35	631	5.4	6,431
香寺	29	527	4.5	6,237	30	592	4.8	6,211
夢前	33	538	5.1	6,229	33	437	5.3	6,232
安富	9	79	5.0	1,606	8	81	5.0	1,607
家島	2	46	0.5	1,892	2	37	1.1	1,873
計	457	7,362	2.9	143,834	476	7,324	3.3	143,733

## (2) 地域介護予防活動支援事業

地域活動組織の育成・支援や、介護予防に関するボランティア等の人材養成のための研修を行う。

### ①いきいき百歳体操グループへの継続支援

地域包括支援センター・保健センターが各グループへの活動支援を行っている。

令和3年度より参加者に対して15項目の質問票を（フレイルチェック票）を実施し、フレイル予防の啓発を実施しており、必要なグループへ、歯科・栄養士・運動指導士による健康教育を実施している。

生活機能の低下によりいきいき百歳への参加が中断になった者に対して、個々の状況を把握し必要な支援を行い、再度参加できるように支援を行っている。

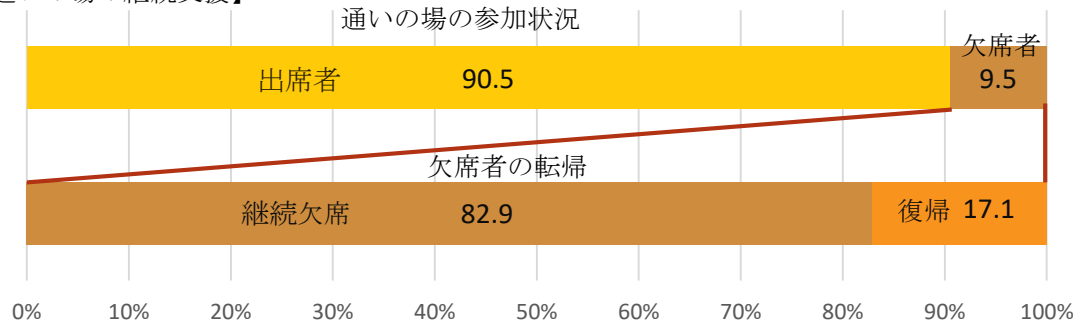
#### 【質問票の実施状況】

令和3年度	293グループ	3,536人
令和4年12月	260グループ	3,027人

#### 【健康教育の実施状況】

	栄養士	歯科衛生士	運動指導士
令和4年度（2月）	0回	6回	21回

#### 【通いの場の継続支援】

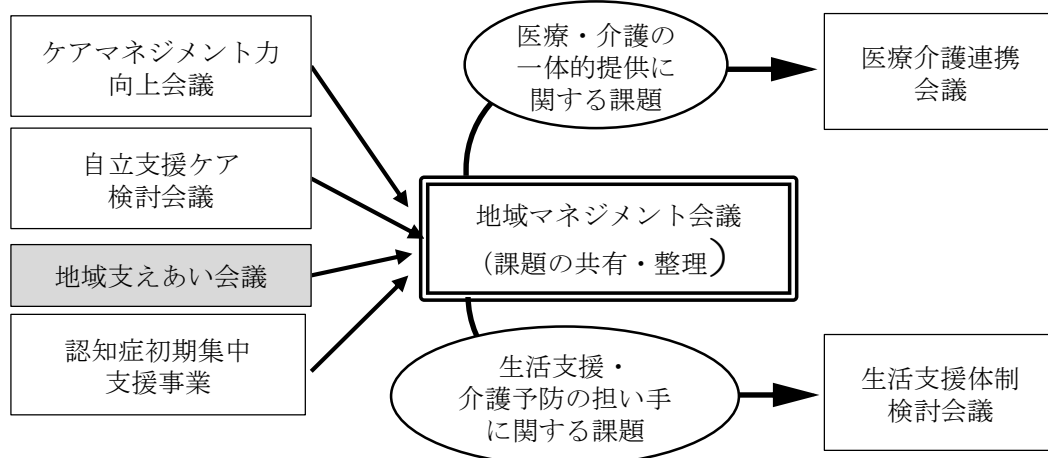


### ②地域リハビリテーション活動支援事業

いきいき百歳体操参加者で、身体の使い方の改善で予防できる転倒・骨折や関節痛の悪化などにより中断する可能性がある者へのリハビリテーション専門職による相談と助言を行っている。

年度	実施グループ数	相談者数（人）
令和2年度	3	8
令和3年度	2	5
令和4年12月	2	4

## (3) その他、通いの場の拡充に向けた取組み





# ① 生活支援体制整備事業の活用

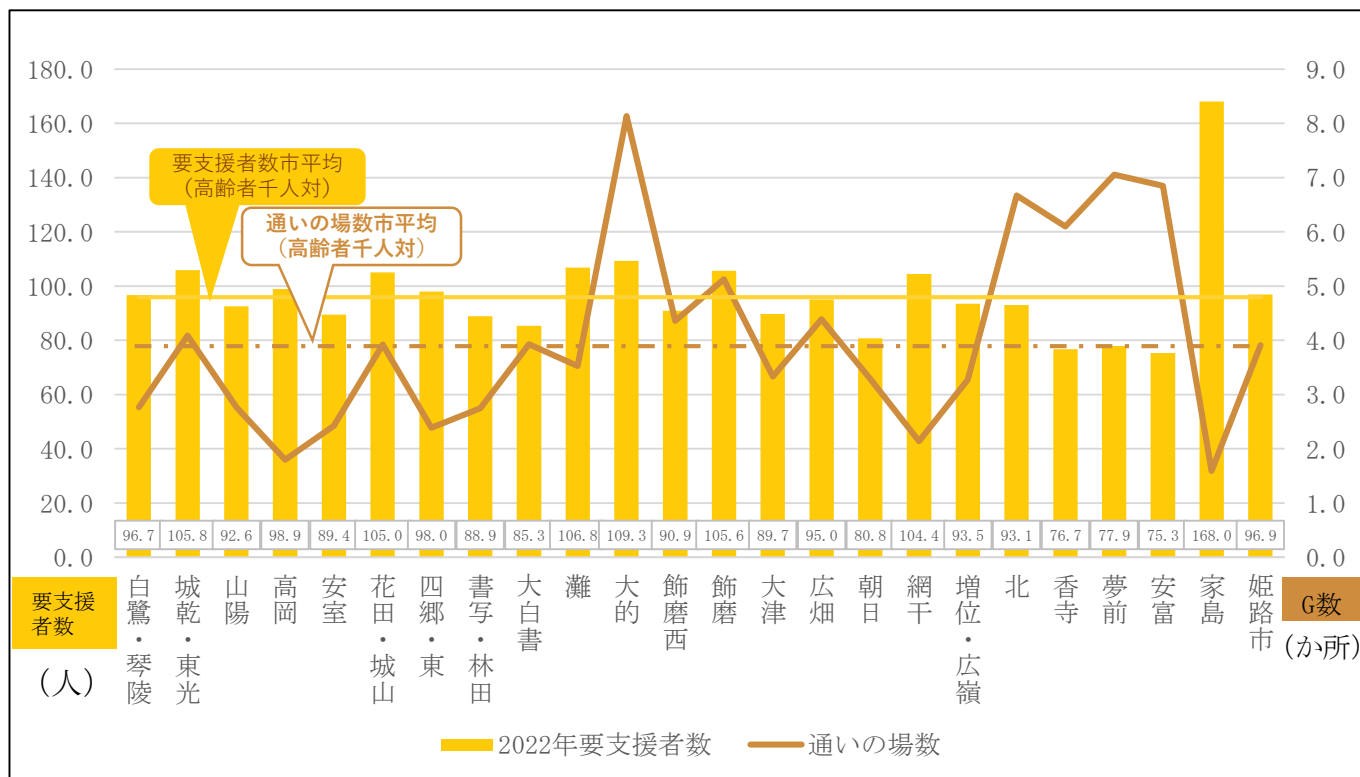
地域包括ケアシステムの実現に向け、生活支援・介護予防を一体的に実施するために、支援の担い手として高齢者が地域活動に参加することで、健康づくり・生きがい・介護予防となること。

また住民が主体となり地域のつながりや支えあいを強化し、高齢者が孤立せずに安心して暮らせる社会を築くことを目指している。

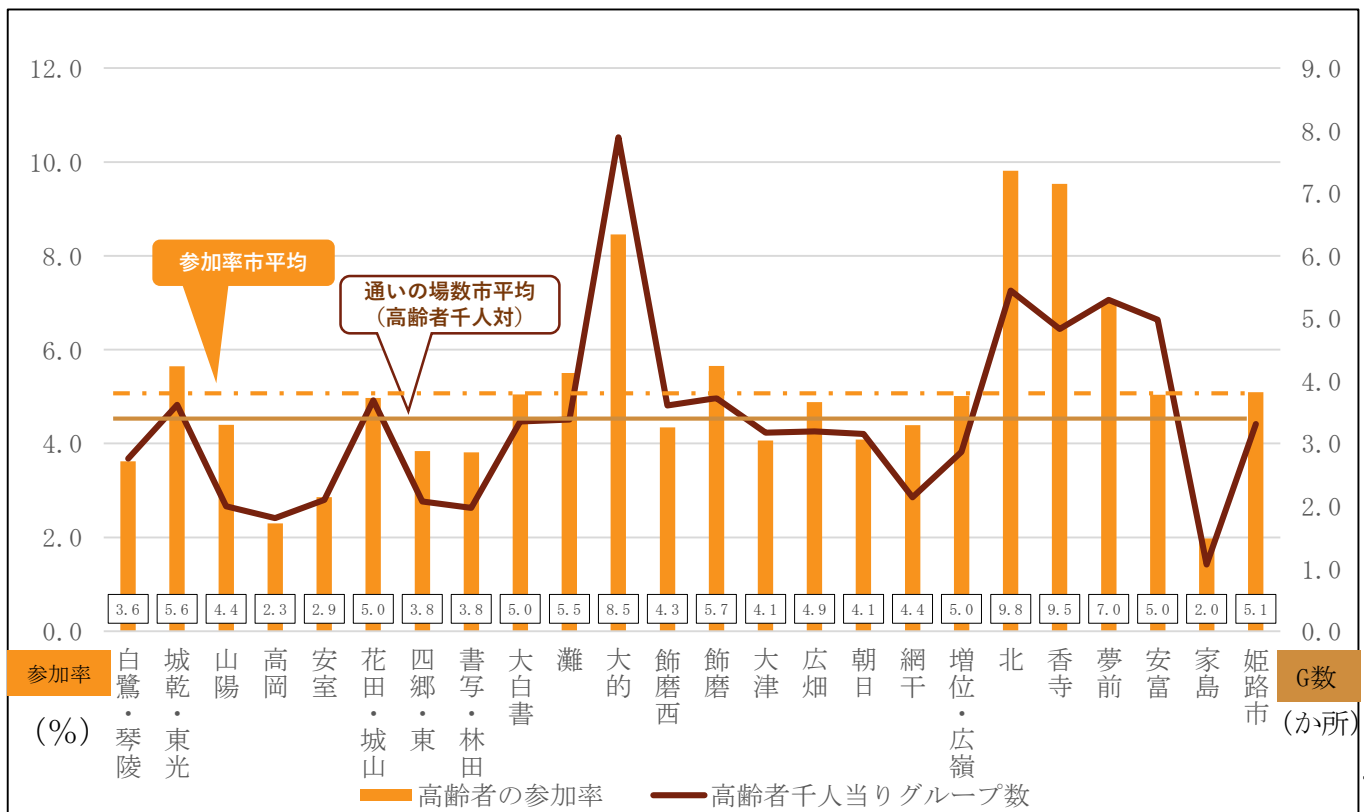
通いの場の継続や必要性についても協議しており、生活支援体制検討会議から通いの場が立ち上がった地域もある。

## 4 令和4年度 姫路市の一般介護予防事業の評価

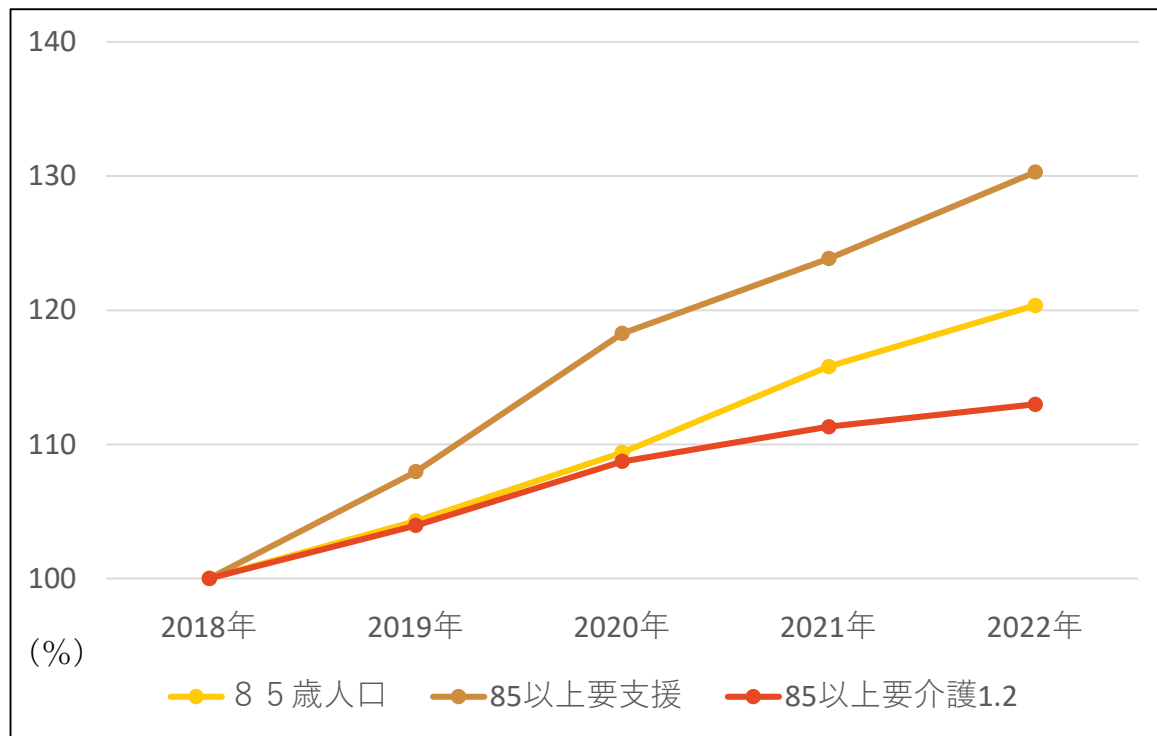
### (1) 地域包括支援センター別の要支援者数と通いの場の数（高齢者千人当たり）支援事業



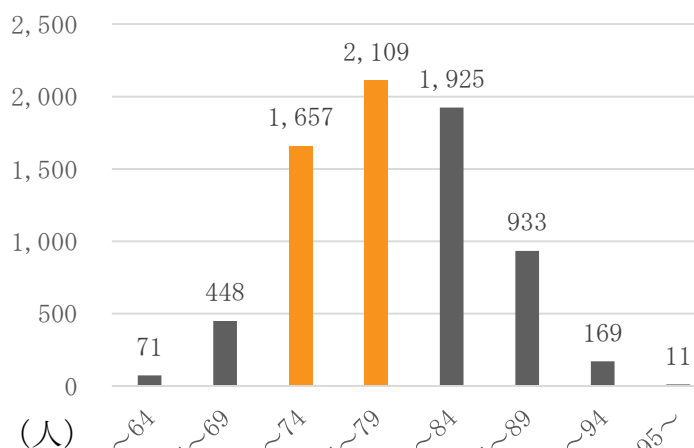
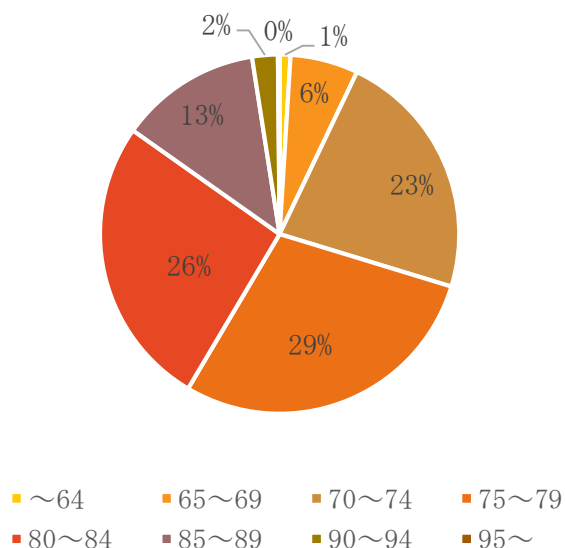
### (2) 地域包括支援センター別の高齢者の通いの場参加率とグループ数（高齢者千人当たり）



(3) 85歳以上人口と要支援・要介護1・2認定者数の伸び率の比較（2018年を100とした場合）



(4) 姫路市の通いの場の参加者の年齢構成（2021年に実施した質問票（3,893人）の結果より）と年齢階級別の参加者数の推計



R4. 12月末のいき百参加者（7324人）の年齢階級別の参加者数の推計

(5) 今後の介護予防事業施策の運営方針

○現在、通いの場に参加している70歳代の人（3,766人）が、2035年も元気に通いの場に参加できた場合には、899人の要支援者を減らすことができる。

【2035年の要支援者見込数】 = 85歳以上人口見込 × 85歳以上要支援認定率  
 8,547人 = 35,808人 × 23.87%

【通いの場効果反映分】 = (85歳以上人口見込－通いの場参加者数) × 85歳以上支援認定率  
 7,648人 = (35,808－3,766) × 23.87%

- ・ KDBデータの活用による中断者の要因分析
- ・ 新規参加者の拡充
- ・ フレイルのリスク者へのアプローチ方法の検討